

2023年3月23日
株式会社ツクルバ

ツクルバ、note社らと共に合計31社で 「IRマガジン」創刊

企業の枠を超えた共創IRで投資家にIR記事を届ける新しい試み



The image displays the logo for "IR Magazine" (IRマガジン) with a "創刊" (Launch) tag. Below the logo is a grid of 31 participating companies' logos, arranged in five rows. The companies include: TSUKURUBA, note, アス企画設計, adish, Appirits, airCloset, GOOD SPEED, Glad Cube, SpiderPlus & Co., スマレジ, SERENDIP HOLDINGS, TSUNAGU GROUP HOLDINGS INC., TOBILA SYSTEMS, CREATE (日本情報クリエイティブ株式会社), PLAID, フードインフォブライズ (FOOD INFO BLYZ), Members, Lancers, Landix, Loadstar Capital, C/NC, Enjin, FINATEXT HOLDINGS, GameWith, GA TECHNOLOGIES, HENNGE, HYUGA PRIMARY CARE (株), JDSC (UNGRADE JAPAN), and THECOO. At the bottom right of the grid, the text "投資家にIR記事を届けるメディア" (Media for delivering IR articles to investors) is written.

株式会社ツクルバ（本社：東京都目黒区、代表取締役CEO村上浩輝、以下「ツクルバ」）は、2023年3月23日、note株式会社など合計31社の上場企業と共に、メディアプラットフォームnote上に「IRマガジン」を創刊したのでお知らせいたします。

投資家のみなさまは、ぜひこちら (<https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b>) からIRマガジンをフォローいただけますと幸いです。

■ IRマガジンの背景

日本政府は「資産所得倍増プラン※」を掲げ、将来的に個人の金融資産を増やすために、国民の資産を「貯蓄から投資へ」という方向にシフトする金融政策を進めています。たとえばNISA制度の拡充など、個人が投資に参加しやすくなるように取り組まれています。

2022年4月には、日本の株式市場の魅力を高めて海外からの投資を呼び込むために、東京証券取引所の市場再編が行われました。これに伴い、企業には、国内外の機関投資家や個人投

資家との相互理解を深めて建設的な対話を促進するために、情報開示の充実や積極的なIR活動の推進が求められています。

これまでのIR活動では決算情報等の適時開示や説明会の開催といった活動が中心でしたが、このような流れを受け、より幅広い情報をわかりやすく届けるため、noteを活用したIR情報発信を行う企業が増えてきています。

今回、投資家のみなさまとのIRコミュニケーションの向上を図る上場企業31社が共同で、メディアプラットフォームnote上に「IRマガジン」を創刊しました。投資家のみなさまに、参加企業のIR情報をよりスピーディーにお届けし、投資判断に役立てていただくことを目的としています。

※資産所得倍増プラン：内閣に設置された「資本主義実現会議」にて2022年11月28日に決定したプラン。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/pdf/dabiplan2022.pdf

■ IRマガジンのねらい

IRマガジンは、企業の枠を超えた共創により投資家のみなさまにIR記事を届ける新しい試みです。投資家の方は、IRマガジンをフォローすることでIRマガジン参加企業のIR記事の掲載通知を受け取ることができ、いち早くIR記事を読むことができますようになります。これにより、IRマガジン参加企業は、他の企業に関心を持つ投資家を含めて、より多くの投資家にIR記事を届けることが可能になります。

■ IRマガジンの閲覧を希望される投資家のみなさまへ

IRマガジンの閲覧を希望される投資家のみなさまは、ぜひ下記URLからIRマガジンをフォローください。

<https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b>

■ IRマガジンの参加企業（合計31社）

IRマガジンの参加企業は以下のとおりです（順不同。各参加企業の「株式会社」省略）。

ツクルバ（東証：2978）

note（東証：5243）

アズ企画設計（東証：3490）

アディッシュ（東証：7093）

アピリッツ（東証：4174）

エアークローゼット（東証：9557）

グッドスピード（東証：7676）

グラッドキューブ（東証：9561）

スパイダープラス（東証：4192）

スマレジ（東証：4431）

セレンディップ・ホールディングス（東証：7318）

ツナググループ・ホールディングス（東証：6551）
トビラシステムズ（東証：4441）
日本情報クリエイト（東証：4054）
プレイド（東証：4165）
ブロードエンタープライズ（東証：4415）
メンバーズ（東証：2130）
ランサーズ（東証：4484）
ランディックス（東証：2981）
ロードスターキャピタル（東証：3482）
CINC（東証：4378）
Enjin（東証：7370）
Finatextホールディングス（東証：4419）
GameWith（東証：6552）
GA technologies（東証：3491）
HENNGE（東証：4475）
HYUGA PRIMARY CARE（東証：7133）
JDSC（東証：4418）
Recovery International（東証：9214）
ROBOT PAYMENT（東証：4374）
THECOO（東証：4255）

■ IRマガジンの企画・運営

「IRマガジン」は、株式会社ツクルバが発案し、note株式会社と共に中心となって立ち上げた新しい企画です。今後は、メディアプラットフォームを提供するnote社が中心となり、IRマガジンの運営を行ってまいります。

■ IRマガジンへの参加を希望される企業の方へ

IRマガジンでは、参加企業を募集しています。参加をご希望の企業様は下記にお問い合わせください。

<https://note-ir.zendesk.com/hc/ja/requests/new>（note株式会社 IRお問い合わせ窓口）

ツクルバは、今後も、IRマガジンを含めた“noteでIR”の活用等の積極的なIR活動により、投資家のみなさまとのIRコミュニケーションの向上を行ってまいります。

<noteについて>

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービス開始し、約3,000万件の作品が誕生。会員数は585万人（2022年11月時点）に達しています。

- URL : <https://note.com/>
- iOSアプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

<株式会社ツクルバ 会社概要>

やがて文化になる事業をつくり続ける場の発明カンパニー。「『場の発明』を通じて欲しい未来をつくる」というミッションのもと、デザイン・ビジネス・テクノロジーを掛けあわせた場の発明を行っています。

<https://tsukuruba.com/>

会社名：株式会社ツクルバ（東証グロース 証券コード：2978）

所在地：東京都目黒区上目黒1丁目1-5 第二育良ビル2F

設立：2011年8月

代表者：代表取締役CEO 村上 浩輝

事業内容：中古住宅のマーケットプレイス「cowcamo（カウカモ）」（<https://cowcamo.jp/>）の企画・開発・運営、シェアードワークプレイス「co-ba（コーバ）」（<https://co-ba.net/>）や空間プロデュースを含む不動産企画デザイン事業

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社ツクルバ（広報：上堀）

TEL：03-4500-8940 MAIL：press@tsukuruba.com